

A-PARTNERS

足立区 NPO 情報紙
つくる。つながる。ひろがる。

No.34
2021年6月15日発行

未来をつくる。

「まちを
まかす」



編集・発行 2021年6月15日 足立区 NPO 活動支援センター
〒123-0851 足立区梅田 7-13-1 (梅田図書館1F) TEL:03-3840-2331 FAX:03-3840-2333 担当所轄: 足立区協働・協創推進課 区民協働推進係 TEL:03-3880-5020



特集

区内NPOの協働・協創の動き

【イベント】未来につながる実験室

聞きたいあなただけのストーリー
虹色応援プロジェクト

ご挨拶
街活性室株式会社

頼って！おいでよ！子育ておまかせ処
cotocaの楽校（らくこう）
出張キッズスペース mamato

コラム
センター長のつづやき

子どもの居場所 子育て支援 安心して暮らせる環境や仕組みづくり



頼って！おいでよ！子育ておまかせ処



cotocaの楽校（らくこう）

主な活動場所：足立区千住 2-18
こそだてシェアハウスcotoca、畑や土手など
お問い合わせ：cotoca.rakukou@gmail.com

子どもたちの自分で考える・動く・作るを大切に、「生きる力」を育む

活動内容

小学生を対象に、不登校児童の日中の活動場所を提供。放課後も開校し、子ども主体で自由な居場所を求めることも受け入れています。

メッセージ

楽校は、子ども主体の子どもが作る場所。子どもの今を守ることは、日本の未来を守ることだと思っています！活動のご支援をしてくださる方も募集しています！



出張キッズスペースmamato

主な活動場所：ご希望に合わせてどこへも出張致します！
お問い合わせ：s-kids.space@mamato.info

お母さんになって諦めることない社会を作ります！

活動内容

お母さんだから出来ない。子どもがいるから無理。そんな事がない様、保育士団体の私達が一人ひとりに合った遊びを持ってどこへでも出張します！子ども達が帰らない！また先生に会いたい！という様な場所になる様、楽しい保育を考えています。

メッセージ

子育て世代をターゲットにしている企業さん！講師さん！団体さん！私達と協創して下さい！！行きたい！と思いついていない方が沢山いると思います。よろしくお願致します！



「くわしく聞きたい！」
「自分も何か始めたい！」
と思ったら...

地域にどんな活動があるのかな？
私にも何かできるのかな？
もっといろいろ知りたい！！
と思った方は、
足立区NPO活動支援センターに
アクセスしましょう。

あたち協働パートナーサイト
Twitter
Facebook



〒123-0851
東京都足立区梅田七丁目13番1号
TEL: 03-3840-2331
adachi-npo-center@machikatsu.co.jp

センター長のつづやき

スタッフ丸となって、足立区を盛り上げていきます。

4月より、「足立区NPO活動支援センター」のセンター長を務めさせていただく事となりました黒沢佳祐と申します。
「足立区NPO活動支援センター」はその名の通り、NPO活動の支援が主たる目的の施設です。
「NPO」の活動ジャンルは「子育て」「福祉」「文化」「環境」「災害」など多岐に渡ります。当センターは足立の団体・区民をサポートするとともに、その先にある「足立区の課題」解決をしていきたいと思っています。そのためにジャンル・部門に捉われず、足立区民にとって一番いい形は何かを常に考えながら運営してまいります。
NPO活動支援センターが足立区活性化の中心となれるよう努力してまいりますので、ぜひ地域のみなさまのお力をお貸しいただければと思います。

開館日・開館時間 変更のお知らせ

【4月1日より】
開館：（火）～（日）午前9時～午後9時30分
休館：（月）、（祝）、年末年始

【制作協力】イラスト：やわらかアートアカデミー ススキミ/表紙撮影：Koen 鈴木 瞳/新規登録団体紹介：N活区民ライター 三井むつみ

特集 区内NPOの 協働・協創の重み

垣根を超えて、多様な主体がゆるやかにつながる「協働・協創」の動きが足立区内で広がっています。令和3年度のA-partnersは、足立区で動き出している「協働・協創」の取り組みや、課題を取り上げていきます。

リーダーをつくらないつながら。
これまでの枠にとらわれない「ごちゃませ」を
試して、楽しんで。

イベント

未来につながる実験室 3月27日(土) 庁舎ホール



リーダーをつくらないつながら。

3月27日、足立区の庁舎ホールが、協働・協創の一つの実験室となりました。足立区の子どもに関わる活動をする団体や個人が、映像、アート、視覚、聴覚で「体感する」を軸に、一つの場を創る試みです。企画のきっかけは、「子どもの貧困対策・子供の未来応援プロジェクト2020子供の未来応援ネットワーク事業助成」の足立区採択団体である「一般社団法人あだち子ども支援ネット」と「NPO法人アフォー」が合同で報告会を行ったらどうかというところからでした。そして、せっかくなら子どもにも関わる足立区の団体や個人と共に考える機会にと、今回の実験室が企画されました。

今回の試みの中でも驚いたのが、「参加団体が集まる企画会議は設けていない」点です。情報共有は主にオンラインツールを通じて進められ、あえて企画を先導していくリーダーをつくらず、参加する各々フラットな立場で、できる範囲で、やってみたいことを持ち寄り形で準備が進められていきました。

主体性が活かせる新しいカタチ。

通常、複数の団体が連携する際には、事務局に負担がかかり、担当した個人や団体が疲弊してしまうことがおこりがちです。日々、目の前の課題に向き合っている団体は、他団体と連携して疲弊することは望みません。

今回の実験室としての取り組みは、これまでの連携の手順や枠を捉えなおし、どうやったら負担を小さくできるだろうか、と探っていた実験でもありました。

支援者ではなくみんなが当事者。

当日の会場は、感染症対策を万全にした受付の先に、子どもたちが折り紙で遊べるスペース、参加団体のパネルが並びました。ホール内では、映画の上映、アートワークショップ、子どもたちによる作文の発表、暗闇での体感ワークショップなど、各団体が持ち時間を主体的に創り上げました。また、参加者も案内を待つだけでなく、自分の意志を持って動いていたように感じました。活動報告会では、「居場所の作り方」について意見が交わされました。

新規登録団体紹介

足立区親子のための 虹色応援プロジェクト

様々な個性の子どもたちが 自立できるように応援！

虹色応援プロジェクトは、「不登校や行き渋りの子どもたちが安心して居る居場所づくり」を目指し、昨年7月に発足したばかりの新しい団体です。様々な特徴をもつ子どもたちを七色にたとえて、子どもがその子らしく自立できるように、それぞれの色（個性）に合わせた応援をしていきたいという気持ちが名前に込められています。

現在は小学生の保護者の方を対象にした交流会や、季節の食育のお店の出店、年に2回のバザーなどの活動をしていま

す。子どもの発達が気になったり、不登校や行き渋りで悩みを抱えている保護者の方が多くいらっしゃるにもかかわらず、子どもたちのセンシティブな問題を気軽に相談できる機関が少ないというのが現状です。

そのため交流会で同じような悩みを持つ虹色応援プロジェクトのメンバーたちと話をすることで、気持ちの軽くなったり、解決の糸口が見つかるかと、代表の佐久間さん。



聞きたいあなただけのストーリー

また昨年開催のイベントでは、学習障害や遅れがちな学習などについて、ZOOMでの講演会なども開催しています。

今後は当団体の理念でもある、平日の日中に子どもが安心して利用できる「居場所づくり」を目指していくそうです。夢は、「川崎市子ども夢パーク」のような行政と協力していける団体に成長することだといいます。「現在は6名のメンバーで活動していますが、もっと多くのメンバーが集まっていただき、協力して夢を実現させていきたい」と、おっしゃっていました。

取材：三井むつみ（足立区NPO活動支援センター 区民ライター）



主催のあだち子ども支援ネットの大山さんは、開催の冒頭で「支援者という言葉はなんかちがう。みんな当事者なんです。」と会場に投げかけをしていました。

そして開催を振り返り「みんながそれぞれに色々なものを抱えながら活動をしている。ちゃんとしたきやいけないという状況だと言葉も行動も詰まってしまう。子どもたちは、集まってみて、そこからできる遊びを考え出せる。大人も集まってみなきゃわかんない」と話します。

「実験」という名のもとで、主体的に動いたからこそ、様々な課題が見え、身になる実験結果が得られたのではないかと思います。

枠からとび出すには不安がつきまといまいます。しかし、その不安や混沌を違う角度で捉え、受け止め、楽しめたら、きっとこれまでとは違う「協働・協創」の景色が見えるのではないのでしょうか。

取材：野際里枝（足立区NPO活動支援センター相談員）

企画参加団体
 主催：一般社団法人あだち子ども支援ネット
 ・"がきんちよ"ファミリー / "がきんちよ" 食堂
 ・ゆる育カフェ
 ・ハート・ベース
 ・あだちエコ委員会
 ・ポルテホール連絡協議会
 ・知らない路地の映画祭制作委員会
 ・やわらかアートアカデミー
 ・あおぞら作文教室
 ・妖怪ピーク
 ・特定非営利活動法人 子育てパレット
 ・里親支援機関事業 二葉乳児院
 ・NPO 法人スマイル・エイジングパートナー
 ・あだち子ども食堂たべるば
 ・キッズサポート
 ・特定非営利活動法人 アフォー

その他
 区内団体・企業有志参加

ご挨拶



街活性室株式会社
代表取締役 斎藤徹

足立区NPO活動支援センターの 運営事業者が変わりました！

2021年4月からNPO活動支援センターの運営は街活性室株式会社が行っています。

街活性室は東京・埼玉で公共施設の運営を通じて、地域活性化のノウハウを生かして、足立区の団体、行政、そして区民の方々と協働・協創で足立を盛り上げていきたいと思っています。

何卒よろしくお願いたします。



「市民協創で開催した国際交流フェスティバルの事例」